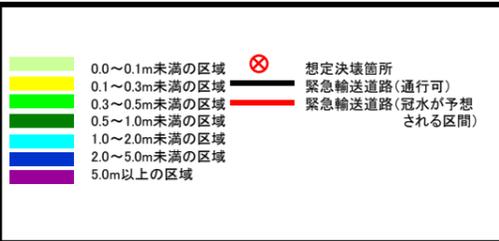


嘉瀬川 ③大和貯留型はん濇 (決壊地点: 右岸13.0km)

浸水想定凡例

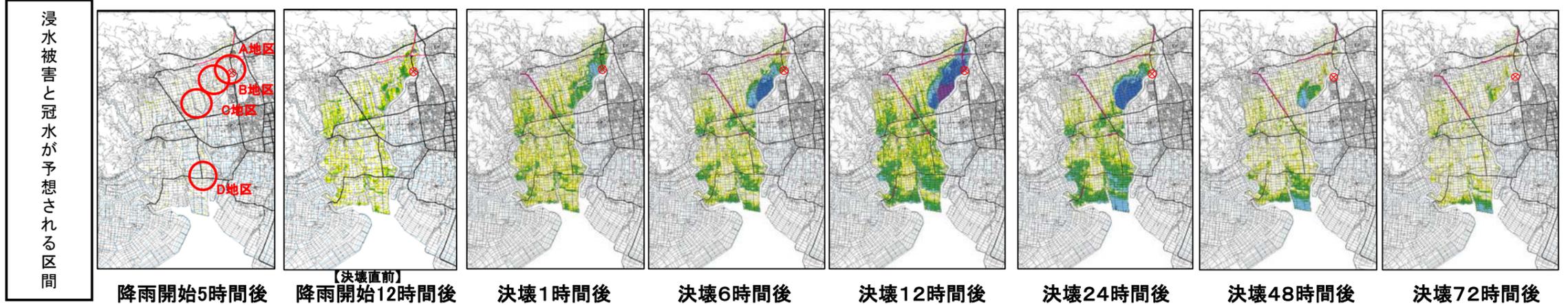


【当該ブロックの特性】

【避難所】避難所が浸水で使用不可となる恐れがある。
 【死者】約124人(避難率0%の場合)
 【家屋水没】5m以上の浸水域は、二階建て家屋が水没するため、人的被害発生の可能性が高い。
 【孤立者数】約4,200人(避難率0%、0.5日後の場合)
 【家屋流失】決壊地点から約150mの範囲で居住不可能な家屋被害が出現する。

被害項目

浸水区域内人口(人)	約 18,600
浸水面積(ha)	約 4,500
床上浸水(世帯数)	約 2,300
床下浸水(世帯数)	約 3,000
死者数(人)	約 124 (避難率 0%)
	約 111 (避難率 10%)
	約 74 (避難率 40%)
	約 25 (避難率 80%)
孤立者数(人)	約 4,200 (避難率 0%)
	約 3,800 (避難率 10%)
	約 2,500 (避難率 40%)
	約 800 (避難率 80%)



項目	降雨開始5時間後	降雨開始12時間後	決壊1時間後	決壊6時間後	決壊12時間後	決壊24時間後	決壊48時間後	決壊72時間後
A地区	●10cm未満	●30cm未満	●1.0m~2.0m未満 ●決壊直後にははん濇水が到達 ●決壊によるはん濇水の影響で家屋被害の可能性がある。					●ほぼ浸水が収束
B地区	●10cm未満	●30cm未満	●10cm~50cm未満	●1m~2m未満 ●決壊後3時間でははん濇水が到達 ●決壊後6時間で、水中歩行による避難が困難となる可能性がある。	●浸水深2.0m以上 ●床上浸水や停電が想定される/避難所が使用できなくなる可能性がある。			●ほぼ浸水が収束
C地区	●10cm未満	●30cm未満	●10cm~50cm未満	●50cm~1m未満 ●決壊後3時間でははん濇水が到達 ●決壊後6時間で、水中歩行による避難が困難となる可能性がある。	●浸水深1.0m以上 ●床上浸水や停電が想定される。			●ほぼ浸水が収束
D地区	●10cm未満	●30cm未満	●10cm~50cm未満	●30cm~50cm未満	●50cm~1m未満 ●床上浸水や停電が想定される。			●ほぼ浸水が収束

※青字: 浸水深

1. 供給 ・電気 ・ガス ・水道	<ul style="list-style-type: none"> ■ 停電による関連施設への影響の波及 * 受電側(居住地など)が浸水により停電発生している可能性が高い ■ 道路冠水、インフラ障害による応急復旧活動への影響 ● 電力: 変電所が浸水対策以上に浸水した場合には電力設備に被害が生じ、供給地域で停電する恐れがある。 ● LPガス: LPガス容器の流出、LP供給設備の水没による使用不能になる恐れがある。 ● 上水道: 浸水により一部の上水道施設の機能が停止し、断水や水の出が悪くなる恐れがある。
2. 衛生処理 ・水害廃棄物 ・防疫	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川からの流入物や建築物の浸水等による廃棄物、粗大ごみなどが一時に大量に発生する恐れがある。 ● 水害廃棄物発生量は、佐賀市の年間一般廃棄物排出量を上回る約10万t発生する可能性がある。 ● 浸水による生活環境の悪化等により感染症の発生が想定される。
3. 輸送 ・鉄道 ・道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道の運行停止(降雨等の気象状況を基に予め浸水開始前に運行停止) ■ 内水による移動の困難、渋滞発生 ■ 鉄道の浸水(軌道、線路ポイント冠水) ■ 道路冠水による輸送力の低下 ● 決壊後6時間では、嘉瀬川決壊箇所付近の佐賀外環状線で冠水が予想される。 ■ 放置車両による通行障害
4. 安全・防犯 ・警察署 ・消防署	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浸水による通行止め道路の把握困難 ■ 道路冠水による活動支障 ■ 放置車両、渋滞による活動支障 ■ 警察署、消防署周辺の浸水による作業困難化 ■ 治安悪化の恐れがある
5. 情報通信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 停電後非常用電源に切り替わるが、燃料補給できない場合は通信障害発生 * バックアップ機能を有するテレビ・ラジオは放送継続 ● 避難所自体が浸水して使用できなくなる恐れがある。 ■ 浸水による物資補給困難、避難所での生活必需品不足の恐れ ■ 避難所周辺の道路が浸水して孤立化すると多く出る。
6. 避難所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浸水範囲、被害の把握が困難 ■ 道路冠水による水防活動が困難 ■ インターネット不通による防災情報提供の困難 ■ 避難所浸水による避難場所の選定、指示が困難 ● 排水ポンプ場や水門等の構造物の冠水の可能性がある。 ■ 広域的避難要望の増大 ■ 交通、ライフライン被害の把握困難 ■ 行政機関冠水による防災情報提供の不足、遅れ ■ 要援護者、孤立者の把握困難 ■ 非常用燃料の供給困難による排水機場の機能障害 ■ 資機材不足による孤立者、要援護者等の救出困難
7. 防災・水防	<ul style="list-style-type: none"> ■ 放置車両や道路冠水による患者搬送困難 ■ 停電後非常用電源に切り替わる ■ 燃料補給できない場合は医療活動に支障(病院・福祉施設) ■ 災害時要援護者等の避難困難 ■ 機器冠水による医療活動の支障 ■ 周辺の浸水により患者の搬送・受け入れが困難 ■ 医療救護班の不足の恐れ ■ 災害時要援護者等の所在の確認困難
8. 福祉・医療・教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ 入手情報が断片的で状況把握が困難 ■ 浸水による建物外への避難困難、孤立化 ● 決壊後6時間では、B地区が浸水深2m以上になり、固定電話を使用した救助要請や防災情報の入手が困難になる。また、停電によりTVからの情報入手が困難となる恐れがある。 ■ 家屋浸水に伴う停電でTVやインターネットからの防災情報等の入手困難 ■ 家屋浸水に伴う停電で固定電話の使用不可/救助要請の伝達が困難
9. 居住	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内水発生による家屋への孤立